

【Q&A】ダブルダッチチャレンジ in JAPAN

2020/10/1更

選手・コーチの皆様からいただいた、大会について・競技についてのお問い合わせにご回答致します☆

《 競技全体についての内容 》

●各競技のジャンパー・ターナー・ロープポジションのSTARTの位置に指定はありますか？

→指定はございません。ロープがしっかりと静止している状態で準備をしてください。

ジャンパーも、ロープの間・ターナー横などの指定はございません。

●フライングの場合「減点」などはありますでしょうか。

→専用音源をご確認いただき、「ピープ音前にターナー・ジャンパー・ロープが旋回動作に入った」場合、「記録なし」となります。

※概要・ルールに掲載がございませんでした。回数結果に影響が出るため、ご理解のほどお願い申し上げます。

●ターナーとして保護者や指導者が参加する場合の参加費は発生しますか？

→「ひとりでチャレンジ/クラブでチャレンジ」にて保護者や指導者の方がターナーとして参加する場合、費用は発生しません。

●チーム編成で学年がバラバラの場合、部門はどうなりますか？

→「チームでチャレンジ/ふたりでチャレンジ」に関して、チームの最高学年に合わせて部門が決定します。

※「チームでチャレンジ」にエントリー、チーム構成が小学5年生2人、小学4年生3人 計5人チームの場合 全種目「5・6年生部門」となります。

《 ひとりでチャレンジ！ についての内容 》

●「ひとりでチャレンジ/ジャンプスルー」で跳ばないロープが浮いていても回数になりますか？

→回数としてカウントされません。2本のロープが地面に接地するように回してください。

●「ひとりでチャレンジ/ジャンプスルー」でターナーが近づいて回すことは可能ですか？

→可能です。但し、2本のロープが地面に接地していること、ロープを短くしない/短く持つことは禁止致します。

●「ひとりでチャレンジ/ジャンプスルー」でジャンパーがターナーの体の一部に触れるなどしながら競技をすることは可能ですか？

→可能です。但し、ターナーが過剰に移動することは禁止致します。

《 チームでチャレンジ！ についての内容 》

●「チームでチャレンジ/ターナーターン」で参考動画では回った後3回ジャンパーが跳んでいます、1回でも良いのですか？

→はい。回った後にジャンパーが跳んだ際に1回とカウント致しますので1回跳んで次のターナーターンに移行可能です。

●「チームでチャレンジ/ターナーチェンジ」でジャンパーの抜け方は1抜けのターナーチェンジでも良いでしょうか？

→はい。抜け方の方法はチームでご選択ください。

●「チームでチャレンジ/ターナーチェンジ」1抜けの場合も両足の指定でしょうか？

→1抜けターナーチェンジを実施する場合、縄を1回で越えないといけないため、両足でなくても結構です。

3抜けターナーチェンジの場合、1・2回目のジャンプは両足ジャンプで実施してください。

《 クラブでチャレンジ！ についての内容 》

●「クラブでチャレンジ/ジャンプスルー」で跳ばないロープが浮いていても回数になりますか？

→回数としてカウントされません。2本のロープが地面に接地するように回してください。